



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第38号

2007.3.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつかっています。

もくじ

お知らせ

- 冬季閉館について
- アンケートのお願い

活動報告

- スノートレッキング

観察会案内

- 早春の苅尾トレッキング
- 芸北 自然学習発表会
- 雲月山の山焼き

お知らせ

冬季閉館について

高原の自然館は11月26日より冬季閉館中です。次回開館は2007年4月25日です。冬季連絡先は北広島町芸北支所2階、自然史研究室（電話0826-35-0115）となります。メールは今まで通りご利用いただけます。

アンケート調査にご協力ください

2007年度の西中国山地自然史研究会の活動を考えるための資料として、アンケート調査を行っています。会の活動をより良いものにしていくため、同封のアンケートにご協力ください。

活動報告

スノートレッキング

開催日時：2007年2月18日（日）10:00

記録的な暖冬のため、今年のトレッキングとは打って変わって、まるで4月のような景色でした。スノーシューやかんじきも必要なく、自然館の中でレクチャーを受けた後、長靴で出発しました。

2月に雪が無いことで、普通の年では考えられないようなものがいろいろ見られました。たとえば、ネコヤナギがもう芽吹いていたり、例年なら雪の下にあるはずのハイイヌガヤが花を咲かせていたりしました。鳥の移動にも影響が出ているようで、4羽のイカルを見ることができました。また、ホオジロのさえずりも既に聞かれました。雪が無く、暖かい気候に敏感に反応している生き物の姿が見られました。

ただ、少雪に敏感に反応するものばかりではなく、コナラなど多くの樹木は冬芽のままじっと過ごしていました。夏なら簡単に同定ができるナナカマドの冬姿や、クロモジのどがった葉芽・丸い花芽を観察しながら歩くと、雪は無くてもまだ春は遠いことが実感されました。草食性のハタネズミが植物の根を齧るために進んだ跡や、アズマモグラがトンネルを作るために掘り出した土の「モグラ塚」を見ると、冬でも土の中では生き物たちの生活が営まれていることが感じられました。

お昼前には山麓庵まで戻り、囲炉裏を囲んで食事を摂ったあと、歩きながら見たものを素材にして、みんなで俳句を詠みました。はじめはみなさん及び腰のようにみえましたが、なかなかどうして力作ぞろいでした。すっきりしないお天気でしたが、少し早い春の訪れを感じながら和んだトレッキングでした。[し]



湿地の中にも雪は無い。ヨシも倒れていなかった。



ハンノキ林の中で見つけた、マムシグサの球茎（右下の尖ったところが芽）。



水口谷の林寄りに、ほんのわずか雪が残っていた。



自然館裏のパークゴルフ場には、大きなモグラ塚があった。



囲炉裏を囲んで句会。

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「2月に、全く雪の無い道を歩き、不安な気持ちになりました。」「囲炉裏を囲んでの昼食と語り合いのひととき、人数が少ないのでマンツーマンの形式で話が聞けてよかった。」「できれば天気が良くなってほしかった。」「雪が無い八幡なんて八幡じゃないと思ったりもしたけど、八幡のいろいろな面が見られてよかったです。囲炉裏も趣がありました。」「ハタネズミの道など、雪が無いことで見ることができるものを楽しめた。」「雪のないスノートレッキングでしたが、雪がないならではの楽しみがありました。」「雪の無い年だから見つけられる発見もあり、いい観察会でした。」「少人数でうちとけて活動できた。」「記録的な暖冬なので、様々な生き物の様子を記録しておく必要がある。」「囲炉裏を囲んでの食事&句会は楽しかった（苦しかった）。」「冬の芸北は初めてですが、芸北はどの季節も素敵ですね。」「本格的に木々や草花が芽吹き始めた後の観察会も楽しみにしています。」

【スノートレッキング俳句集】

雪解けて 張り合いなくす 松の枝
芽をだすな 霜に負けるよ カキツバタ
暖冬に イカル、ホオジロ やってくる
春雨や いろりを囲む 話し声
温暖化 来年どうなる 積雪は
ホオジロの さえずりうれし 雪の道
残雪に 春遠からず ネコヤナギ
雪がない はたと困った ハタネズミ
雪がなく 遊んだ跡が みなばれる

【みなさんの印象に残った物】

「ウサギに似たイノシシのフン」「ネコヤナギの芽吹き。」「イカル4羽。」「マムシグサ（解説がとてもおもしろかったです）。」「雪がほとんど無かったこと。(2)」「雪の下でもめげないハタネズミのトンネルが、雪が無くなって見られたこと。」「ヤナギの春雨つぶ。」

観 察 会 案 内

スノートレッキング

開催日時：2007年3月11日（日）9:30
集合場所：高原の自然館
準備：長靴、弁当、ルーペ、メモ、暖かい飲み物、おやつ等
定員数：30名
参加費：300円
（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

記録的な暖冬のため、芸北地域でも雪が非常に少ない冬でした。例年であれば、3月中はスノートレッキングが楽しめる苅尾山も、すでに山肌が見える姿になっています。少雪の影響がどのように出るのかは、まだまだ未知ではありますが、このチャンスに早春のトレッキングに出かけませんか？



雲月山の山焼き

開催日時：2007年4月14日（土）8:30
集合場所：雲月山駐車場
準備：作業の出来る服装、軍手、
（あれば）草刈り機・レーキなど。
草刈り機の燃料は、こちらで準備します。
参加費：500円

山の景観と生態系を守る山焼きが、今年も行われます。雲月山山焼き実行委員会では、山焼きの作業を手伝っていただけるボランティアを募集しています。作業の内容は防火帯づくり（草刈り）と延焼防止のための監視です。お時間が許すようなら、どうかご参加ください。

※1
参加される方は、必ず事前に申込みをしてください。当日の案内など、詳しい資料を送付いたします。
申込み〆切：3月31日

※2
山焼きは雲月山の生態系保全と景観保存のために行われます。当日は安全確保のため、観光目的の入山はご遠慮ください。

芸北 自然学習発表会

開催日時：2007年3月7日（水）13:15
集合場所：芸北文化ホール
参加費：無料

芸北エリアにある5つの小学校が、合同の自然学習発表会を行うことになりました。それぞれの学校で子供達が行ってきた自然学習の成果を、子供達自身が発表します。美和のサクラソウ、雲月の山焼き、八幡の湿原再生事業のほか、雄鹿原小、芸北小からは今まで取り上げられなかったテーマについて発表されます。特に、雲月小学校のオペレッタはご来場の際には、ハンカチをお忘れ無く...

短い冬が通り過ぎました。暮れの頃は「今年は楽だねー」という挨拶も、この頃では「こんなに暖かくて、どうなるんだろうね」という不安の声に変わっています。昨年豪雪を期に、除雪機を購入した方や除雪装置を自作した人もありましたが、今年はほとんど出番が無かったです。野生生物にも影響が出るかもしれませんが、学芸員には「春のワクワク感が小さい」という影響がすでに出ているようで、不安です。杞憂だとは思いますが...

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/> staff@shizenkan.info
冬季連絡先：0826-35-0115（自然史研究室）